

科学技術イノベーション官民投資拡大推進費 ターゲット領域検討委員会 第3回会合(概要)

1. 日 時 平成 29 年 3 月 15 日(木) 9:30~12:00

2. 場 所 中央合同庁舎 8 号館 6 階 623 会議室

3. 出席者 久間 和生 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員  
上山 隆大 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員  
橋本 和仁 総合科学技術・イノベーション会議有識者議員  
江村 克己 日本電気株式会社取締役執行役員常務兼 CTO  
須藤 亮 産業競争力懇談会実行委員長／株式会社東芝技術シニアフェロー  
永野 恵嗣 株式会社スリー・ディー・マトリックス取締役会長  
西尾 章治郎 国立大学法人大阪大学総長  
松尾 清一 国立大学法人名古屋大学総長

4. 配付資料

資料3-1 ターゲット領域について  
資料3-2 日本経済団体連合会提出資料  
資料3-3 厚生労働省提出資料  
資料3-4 農林水産省提出資料  
資料3-5 国土交通省提出資料  
資料3-6 環境省提出資料  
資料3-7 警察庁提出資料  
資料3-8 経済産業省提出資料

5. 議題

- (1) ターゲット領域検討に係る関係機関からのヒアリング
- (2) その他

6. 議事概要

- (1) 冒頭、委員会の開催に当たり、鶴保庸介 内閣府特命担当大臣(科学技術政策担当)及び久間会長より挨拶。
- (2) 事務局より、第2回会合を踏まえ修正した資料3-1について説明。
- (3) 日本経済団体連合会より、資料3-2について説明。同説明に対する委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・産学連携を誘導できるターゲット領域を選ぶことが重要。
  - ・市場規模拡大や国際競争力強化の視点で提案されたターゲット領域を分析することが必要。
- (4) 厚生労働省より、資料3-3について説明。同説明に対する委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・社会保障費削減など日本は課題先進国であるので、世界に先駆けて成果を出し、それを海外に展開すべき。そのために産業界もしっかり投資すべき。
- (5) 農林水産省より、資料3-4について説明。同説明に対する委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・産業界と連携し、民間投資が促進されるビジネスモデルを検討してほしい。
- (6) 国土交通省より、資料3-5について説明。同説明に対する委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・インフラ技術革新による輸出拡大に向けて、日本の強みの技術を再度俯瞰しておくが良い。
  - ・インフラや防災に関する技術を海外展開できる可能性が示せれば、産業界の投資も期待できる。
- (7) 環境省より、資料3-6について説明。同説明に対する委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・公海上で収集されるデータをどう産業につなげていくのか検討してほしい。
- (8) 警察庁より、資料3-7について説明。同説明に対する委員からの主な意見は以下のとおり。
  - ・効率的な研究開発のために、警察庁のニーズについての情報交換など、民間との連携を推進すべき。

- (9) 経済産業省より、資料3-9について説明。同説明に対する委員からの主な意見は以下のとおり。  
・ものづくり産業の高度化の提案について、既存事業以外の事業についても検討を進めてほしい。

以上